

■第3回犬山市総合計画審議会委員からの意見・提案【Aグループ】

資料1

番号	項目	意見・提案	対応	委員氏名	備考
1	流入人口	就業での流入人口を増やすのは、雇用の場を市外住民に取られてしまい、税収も減ってしまうので、指標として適切ではないのではないか。	交流人口の考え方について、観光以外の要素(通勤・通学等)は捉え方が一律ではない為、改訂版では削除します。指標としては入込観光客数に統一します。	M	全体での意見
2	土地利用	土地利用構想図、豊かさ向上軸と生活交流ゾーンの範囲を広げた(R41号線沿い)意図がはっきり示さないと判断ができない。	基本構想内、(3)土地利用構想ゾーン図に「土地利用方針見直しのポイント」として、豊かさ向上軸と生活交流ゾーン拡大の意図を表記しました。	B	全体での意見
3	土地利用	「交流」という意味が曖昧。「買い物利便性高める」「商業で賑わい」など具体的に書くべきではないか	市内外から人が集い、賑わいを創出するための拠点形成を目指しており、買い物利便性向上を含め幅広い意味と可能性を有した意図で「交流」と位置付けました。	N	全体での意見
4	土地利用	総計では、広い意味での「交流」でいいのではないか。	上記のとおりであり、「交流」という表現としています。	C	
5	土地利用	五郎丸がなぜ必要なのかを示すべき。市民アンケートでも買い物の不便さが圧倒的に多い。商業を活性化させるなど明確に	基本構想内、(3)土地利用構想ゾーン図に「土地利用方針見直しのポイント」として、豊かさ向上軸と生活交流ゾーン拡大の意図を表記しました。	N他	
6	土地利用	生活交流ゾーンを拡げて実際に市街地にするということは、都市基盤を整えるということであり、市税を投入して実施することになる。実需というが、本当にそれだけのやる価値があるのか、決断をする必要がある。	ご指摘の点は非常に重要であると考えます。限りある財源の中で効果的な施策を推進していく必要があるのは自明のことです。今回の総合計画改訂における土地利用構想ゾーン図の変更について、従来土地利用のゾーンの表記は実施事業の想定、見込がある箇所に対してエリアとして位置付け、ゾーニングという形で範囲を設定していました。今回のゾーニングの考え方(組み立て方)は、今後、新たな交流の拠点形成や商業地の整備などの可能性を有するエリアについては、その可能性を閉じないように、市全体の都市計画の考え方に留意しながら、あらかじめ生活交流ゾーンとして色付けしておくという、従来とは相違する考え方から成り立っています。このため、生活交流ゾーンとして拡大した箇所すべてを実際に市街化区域にするというのではなく、生活の利便性を向上させ、交流を促進するために必要な土地利用の将来における可能性を無くしてしまわないように色付けしています。	C	
7	土地利用	市街地を拡大する前に、市街化区域内の低未利用地の活用が最優先と必ず問われるので、対応が必要(低未利用地の活用は行政もそれなりに補助しないと絶対に機能しない)。	ご指摘のとおりです。今後6年間の重点施策「定住促進」の中で、「既存ストックの活用」を重点すべき個別施策として計上しています。この中で空き地の活用として、特に「市街化区域内の都市的・低・未利用地の活用」を積極的に進めることが必要であると認識しています。なお、活用が促進されるような施策については、今後6年間の中で検討し実施していくことになります。	C	
8	土地利用	自分は、市街化は駅とセットだという認識である。交流拠点(商業施設)も車じゃないと行けないというのはダメだという認識。	駅については、計画期間内において、設置の必要性も含め可能性の検討を実施することとしています。	C	
9	土地利用	土地利用については、大まかな方向性を位置付けて行けば良いのではないか。生活交流ゾーンも(羽黒～楽田あたり)、凹凸を作るのではなく、まっすぐにして大まかにすれば良い。	今回、土地利用構想ゾーン図設定の考え方については、上記6のとおりです。また、総合計画は全体の大まかな方向性を示すものであるということをご指摘のとおりであり、そうした考え方から、図を簡素・省略化しています。	C	
10	土地利用	豊かさ向上軸を名鉄広見線沿い、富岡、善師野駅あたりに伸ばして大まかに括ると良いのではないか。	豊かさ向上軸は、バスや鉄道を始めとする公共交通と主要な幹線道路に沿った周辺部について、主に市西部の平坦地における南北の軸を中心として設定しており、市東部に存する両駅を含める設定はしていません。ただし、生活の豊かさを向上させるという観点としては、当該地区は自然共生ゾーンとして、自然と調和した生活環境の充実を図り、主要な集落や団地の中心部等に日常生活を支える機能が集積する住民の集いの場となる拠点を形成することとしております。	C	
11	全体像(タイトル)	重点施策1～3のタイトルがぼやーっとしてイメージが湧かない。なぜ犬山で今これが必要なのか、わかりやすい表現としないと市民は「？」となる。	タイトルについては、わかりやすく、イメージしやすい内容を検討します。	N	

■第3回犬山市総合計画審議会委員からの意見・提案【Aグループ】

資料1

番号	項目	意見・提案	対応	委員氏名	備考
12	全体像 (タイトル)	タイトルについて、「買い物不便だから商業の活性化」など、ストーリーがあると良い。	3つの重点施策について、相互に関連し、全体として一つのストーリーとなるようなタイトルを検討します。	N	
13	全体像 (重点施策)	重点施策1と3は内容で重複しているものがあるのではないかと。	ご指摘のとおりであり、重点施策1及び3について、また、2についても内容が重なる施策もあります。ただし、これらの施策は、相互に関連し、連動する内容のものであるということを確認しています。特に、重点施策3は定住促進であるため、総合的な施策の推進によって、達成されるものであるため、他の2施策の内容を包含することになることは有り得るものと考えています。	C	
14	全体像 (重点施策)	重点施策内で各施策に濃淡があっても良いのではないかと。	重点施策内の各個別施策は、全体で110以上ある個別施策のうち、今後の6年間で特に力点を置いて実施する施策を計上しており、その中での濃淡(優先順位)を設定することは行わないものとしました。	C	
15	全体像 (タイトル)	重点施策内の各政策で本当にやりたいことをタイトルにしても良い。	ご指摘のとおりであり、タイトルについては、委員のみなさんにもご提案をいただきながら、わかりやすく、イメージしやすい内容を検討します。	C	
16	全体像 (タイトル)	タイトルが体言止めであり、それよりは動詞にしても良いのでは(選挙公約は「～します」という表現にしている経験から)。	ご指摘のとおりであり、タイトルについては、委員のみなさんにもご提案をいただきながら、わかりやすく、イメージしやすい内容を検討します。	N	
17	全体像 (産業)	工業だけ、後ろに追いやられているように感じる。	工業、特に製造業については、市の就業構造上、もっとも多くの方が従事する分野であり、その重要性は大きいと、重点施策1において工業団地の整備を計上しています。また、個別施策においても、中小企業の振興を掲げ、既存企業の基盤強化などを記述しています。	O	
18	全体像 (産業)	重点1には、農の6次産業化を目指すなどの表現も必要(地産地消、工業も見据えて)。	ご指摘のとおりであり、「地産地消を促進し犬山の特性を活かした施設誘致」に6次産業化の推進を含めて進めていくこととしています。	O	
19	全体像 (産業)	重点施策1 インバウンド内、「施設のネットワーク化」は分かりづらい。ネットワークにはいろいろな要素があるということであれば「観光施設間の連携」とするとよいのでは。	インバウンドを推進する上で、取組みの一つとして各施設を周遊できるような仕掛けが必要であると考えます。ネットワーク化とは、施設間の移動に関する連携、事業内容における連携、など、ソフト面、ハード面など様々な意味で繋げていくことを想定しており、「施設間の連携」と同義であるという認識をしており、ご指摘のとおり、わかりやすい表現に変更します。	C	
20	全体像	施策をどこまで具体的に記述するかを検討すると良い。また、どこの市町でもやっていることではなく、犬山市が独自にやれることを出すとわかりやすいのではないかと。	総合計画自体は全体計画であり、一定の方向性を定めるものであるため、具体的な記述に至らない表現となる場合もありますが、それぞれの個別施策については、基本計画内において現状・課題、施策の展開方向などを表記し、できるだけ具体的に記述するように留意しています。	L	
21	全体像 (活躍)	「犬山で何かをしたい人」という表現はわかりにくい。「何かをしたい人」にしてはどうか。	ご指摘の意図は十分承知しており、表現のわかりやすさを検討しますが、ここでは「既にやりたいこと、活躍したい場」が決まっている人、「犬山でやりたいことがある人」を具体的に応援していこうとするものであり、「犬山で」を付して表記したいと考えております。	L他	
22	全体像 (産業)	「魅力ある商業地の整備」は何を誘致するのか。市外(周辺都市)に買いに出ている人を呼び戻すという意味で考えるのであれば良いが、単に大規模な商業施設を誘致するのは良くないのでは。	ご指摘のとおりであり、まずは市外(周辺都市)に買い物に出ている人を一定数呼び戻すという考え方に立脚しております。	C	
23	全体像 (産業)	城下町の商店街、ヨーカドー、そしてイオンなどの大型ショッピングモールができる、という繰り返し。追いかけてきている状態。やはり犬山の特性を活かしたものを検討すべき。	ご指摘のとおりです。こういった施設が犬山らしいのか、犬山の特性を活かした施設とはどういうものなのかは、今後検討していくこととなります。今回の総計はまず「可能性の扉を開くこと」という点を念頭においております。	G	

資料1

■第3回犬山市総合計画審議会委員からの意見・提案【Aグループ】

番号	項目	意見・提案	対応	委員氏名	備考
24	全体像 (産業)	自分は道の駅がいいと思う(地域振興施設を併設したもの)。市街化編入まで行かなくても、市の現状を考えるとこうした手法も良いのでは。	地産地消を推進するような、犬山の特性を活かした商業施設、という内容に合致するものを民の力を活かしながら検討していきたいと考えています。このため、地元を含む農作物が購入可能となるような施設については今後検討することとなります。	N	
25	全体像	数が多すぎるのではないか。これだけの事業を実施可能なのか。	施策の数としては妥当であると考えています。また、全てが新規事業ではなく、現在実施している施策の中で、特に重点してメリハリをつけていくという考え方をしております。	O C	
26	全体像 (産業)	商業施設は新しいものだけでなく、今ある施設と共存できるものを。	ご指摘のとおり。新規と既存が共存するようなまちづくりを念頭に置き展開する必要があると強く感じています。	G	

■第3回犬山市総合計画審議会委員からの意見・提案【Bグループ】

番号	項目	意見・提案	対応	委員氏名	備考
1	産業	既存駅の駅前の活性化ということも考えていただきたい。	ご指摘のとおり、既存駅周辺の活性化は重要な視点であると考えます。個別施策において記述し、地域での生活拠点として市民交流や生活サービス提供の場の導入を図ってまいります。	M	
2	土地利用	今井パイロットは耕作放棄地になっていて、大きな課題。この地区の活性化について総合計画に取り入れてもらいたい。	ご指摘のとおりであり、同地区の活用は本市にとっても課題として捉えています。土地利用においては、「環境保全・活用エリア」として位置付け、荒廃農地の再生と自然公園としての価値向上を図る土地利用を検討してまいります。	M	
3	産業	豊かさ向上軸にどういう産業を構築していくかというのが非常に重要。大手流通業界というのは再編が厳しく、市民の利便性を高めるには大事だが、それだけに頼るということではなく多様な産業を生み出すことが重要	ご発言のとおりであり、幹線道路沿いの賑わい創出という施策の推進にあたり、市内既存商業との共存が重要であると捉えています。また、豊かさ向上軸において産業も含めた利便性の向上を目指すというのは向上軸の設定の考えそのものであり、ご指摘のとおりです。	B	
4	産業	橋爪五郎丸は、交流拠点でもあり、産業拠点でもあるという位置づけということは理解した。産業と賑わいの両立は可能と考える。新しいタイプの産業を市民と一緒に創るという仕組み、形を考えていくことは、いろいろな事例を見ると可能だと思う。	ご指摘のとおり。産業の活性化を推進する中で、市内外の人が交流し、賑わいを創出するため、新たな拠点を形成していきたいと考えており、そうした取組みにおいては「民のチカラ」が極めて重要であると考えます。	D	
5	産業	犬山は製造業の出荷額が多く、それを担う中小企業も多い。今回の重点施策は外からの企業を誘致することは入っているが、中小企業のネットワークの構築など、既存企業に関することが入っていないようだが、そちらも重要であると考えます。	ご指摘のとおり、製造業は本市にとって非常に重要な基幹産業です。中小企業の振興についても、重点施策としては掲載していませんが、ご発言の内容を踏まえ、個別施策においての記述を強化し、市内企業の基盤強化を支援していきます。	B	
6	土地利用	「市民及び市外の人々との交流の場」「住民の憩いの場」という表現は非常に大事。五郎丸地区は、商業施設というよりは、交流の場として、第2の城下町など犬山独自のものをつくってはどうか。そこに活躍の場を作ることが大切なのではないか。犬山城はすごくメジャーになっているので、そこを利用しない手はないと考える。	ご指摘の点は大変興味深いものと考えます。市内外の人が集い、交流することで新たな賑わいが創出されるということを目指しております。今後の土地利用及び展開において念頭に進めさせていただきます。	H	
7	土地利用	この総合計画の見直しにより、施策の方向を決めることが大事。その施策によって、土地をどう活用していくかが明らかになってくる。	ご指摘のとおりであり、土地利用構想ゾーン図において全体の方向性を設定しており、また重点施策を特出しして今後6年間に取り組むべき内容を打ち出しております。	E	
8	地域課題	地域の課題を地域で解決していく。そこにコミュニティビジネスを生み出していくことが大切。	ご指摘のとおりであり、今後この領域の取組みはますます重要になると考えており、市としても地域の課題を地域で解決できるような取組みを支援することを重点施策として設定しました。	B	
9	産業	産業のイメージ・サービスが変わってきている。多様な産業が必要ではないか。	「多様性」が犬山市の特徴の一つであると認識して改訂作業を進めており、ご指摘のとおりです。産業の活性化についてもこの視点を強く持ち検討します。	E	
10	産業	イオンなど大規模商業施設を検討するとき、地元の土産や名物を一緒に売る、作るということで、既存商店との共存が図られれば良いのではないかと。土岐のアウトレットでは、隣に道の駅があって、栗きんとんを売っていたりして地元と連携できているようだ。	商業の活性化を考える時、犬山の特性を活かした商業施設の誘致という視点が重要であると考えています。また、既存商業との共存が重要であるという点も同様です。	J	

番号	項目	意見・提案	対応	委員氏名	備考
11	産業	中小企業はまだまだパワーがある。それぞれがバラバラで取り組むのではなく、連携することが大切であり、上手にネットワーク化して新しいものを見出せるような場づくりを行政ができるといい。	ご指摘のとおりであり、5でも述べましたが、個別施策において中小商業者の育成、中小企業の振興について記述を強化し表記していきます。	B	
12	産業	個人的な体験だが以前、ウォークラリーを企画して、工場を見学させてもらおうと思ったが、できなかった。企業を誘致するだけでなく、地元との連携、調整が図れるような形になると良いと思う。	ご指摘のとおりであり、まちづくりにおいてこれまで民間企業との連携、企業の資産の活用という視点はあまりなかったところです。今回、重点施策3「定住促進」の既存ストック活用においてそうした視点も取り入れていきたいと考えます。	H	
13	産業	議論を踏まえると、「産業の活性化」には、7つの項目があるが、それだけでは不足しているようにも感じる。	112ある全ての個別施策をしっかりと実施することが大前提であり、その中で、特に今後6年間に注力するものとして重点施策を設定しています。特出しをするという意味において、数量については検討してまいります。	E	
14	産業・広報	企業が犬山に進出するにあたってのメリットを伝えることが重要ではないか。水道代が安い、環境がよいなど、企業が犬山に進出したくなるようなメリットを効果的に伝えること、そうした意味での情報発信が十分ではないのではないかと。そのための官民連携が重要ではないか。また、工業団地があることに対するメリットについても住民側に伝えることが必要であると考えます。	シティプロモーションを重点施策として設定しているが、観光面(住みやすさ、企業の立地しやすさなど)だけでなく犬山の魅力についてしっかりPRしていくことは今後ますます重要になると考えており、ご指摘のとおりであると考えます。	M	
15	産業	零細でもやる気のある、あきらめない経営者を集めると良い。そのために社会的企業がベンチャーを起こすとき、最初に50万円出している事例もある(佐賀県)。	ご指摘のとおりであり、新たな起業を応援する取組みも重要であると考えます。個別施策「中小商業者の支援」において、創業支援、ソーシャルビジネス支援を打ち出し、進めてまいります。	E	
16	産業・インバウンド	「インバウンド」が入っているのはすごく良い。製造業に加えて、例えば観光の潜在力は非常に大きいものがあり、犬山のポテンシャルに対応した新しい可能性のある産業を検討し創出していく必要がある。	インバウンドの視点は非常に重要であると考えており、犬山における産業の振興においては欠かせないと考えます。計画期間内に東京五輪が開催されることもあり、重点施策に計上しています。	D	
17	産業	市から補助金を出して、新しいことを民間にやってもらうのはどうか。	市民活動支援として実施している。市民活動の在り方については、検討し改善していく	J	
18	産業	新しい産業を生み出す仕組み作りが重要であり、「人」が大切だと思う。新しいものを生み出していくには将来に向かって走っていくタイプのリーダーが必要であり、そういうリーダーを見つける、出会う機会が大切である。そのために市が何かをするということではなく、民間の力が活発にするような仕組みづくりが重要	「人づくり」の重要性は総合戦略でも記載しており、今後のまちづくりにおいて非常に重要な要素であると認識している。総合計画においても重点施策2において計上し、推進してまいります。	E	
19	産業広報	日野市の事例紹介。日野自動車は本社機能だけ残して出て行ってしまい、東芝も閉鎖したが、対策として、駅前にワンストップの起業窓口をつくるなど、新たな起業を誘致したり市外転出を食い止めるなどの施策を実施している。そうした取組みも必要。	起業支援は重要であることはご指摘のとおりです。また、定住促進のため、市の魅力を効果的にPRすることの重要性も強く認識しており、今後シティプロモーション事業として推進していきます。	M	
20	産業人材	人材は非常に重要である。新しい事業を起こしたい人などを積極的に呼び込むための施策も効果的であると考えます。そうした取組みで差別化が図れるのではないかと。そして、人を引き付けるためには、犬山の特色を活かしてどのような産業が必要なのか、犬山の強みというものをもう一度検討して呼び込むことが重要である。例えば水の豊かさ、歴史的な文化財、今井や栗栖といった多様性など、再検証することが必要	ご指摘のとおりです。「犬山の特色を活かした商業誘致」として重点施策として計上し推進していきます。	B	

番号	項目	意見・提案	対応	委員氏名	備考
21	産業 インバウンド	インバウンドにおいても、これまでのあり方というものを見直して、リピーターをもっと増やす工夫が必要である。得意なものを延ばすことを考え、その中であたらしい産業をつくる、これまでの産業をより魅力的にする、などの検討が重要になってくると考える。	D委員の発言のなかでも述べましたが、今後、犬山市の産業振興を考えると、観光、インバウンドについては欠かせない要素であると考えます。犬山の特性を活かしながら、より魅力的な産業の拡がりを創出していく必要があります。今回の改訂においてもそうした視点を大切にしていきたいと思います。	B	
22	産業・ 人づくり	今の重点施策は施設誘致や工場誘致など、どのようにしていくか、というやや受け身や印象もある。どうしたら人が育つか、人を積極的に育てていくという視点が重要	ご指摘のとおりです。産業の活性化のために、企業誘致や工場誘致はもちろん重要であるが、人づくりも重要であると認識しています。新たな交流拠点形成というチャレンジのなかでそうした部分が打ち出していけたらと考えています。加えて、重点施策2に入ることとなりますが、新たな起業の支援を進めていきます。	E	
23	産業 広報	産業の活性化という点は、ブランド化に繋がっていくと考える。そういう意味では、広報的な取り組み、魅力をどのように市民の中で共有できるかが重要である。	ご指摘のとおりであり、ブランド力を高めていくことは重要であると認識しています。広報的な取り組みの強化として新たな個別施策として「シティプロモーション」を設定しています。また、市の魅力を市民の中で共有し、共感を呼ぶことも重要であるとされており、シティプロモーションの取り組みの中で重点していくべきことと考えております。	D	
24	全体	各項目について、全体に文言を整理したい。	効果的な表現を検討するとともに、字句の修正を実施します。	E	
25	産業	起業支援は、「産業の活性化」の方へ持って行った方がよい。「活躍の場づくり」の方だと、「経済的な価値を生み出す」という視点が抜けてしまう。	起業支援は「地域の人々が地域の課題を解決する」という視点を重視し施策2に設定しておりますが、起業による産業の活性化という側面も有しているのはご指摘のとおりです。どちらの意味合いを特出しするか、という観点で施策2に設定しております。	K	